

**「携帯電話番号の有効利用に向けた
電気通信番号に係る制度の在り方」
に係る当社意見**

株式会社NTTドコモ
2015年7月9日

はじめに

- 平成27年6月30日の第13回電気通信番号政策委員会で資料No.13-3「事業者ヒアリングについて」資料を基に「ヒアリング項目」が提示されました。
- 本資料を以て「携帯電話・PHS事業者向け」の「ヒアリング項目」についての当社意見を述べさせていただきます。

資料13-3

事業者ヒアリングについて

平成27年6月30日
総務省 総合通信基盤局
番号企画室

ヒアリング項目 1

携帯電話・PHS事業者

(1) 携帯電話番号の需要について

- 現状、携帯電話番号を利用するM2Mサービスとして、どのようなサービスを提供しているか。
- 今後、携帯電話番号を利用するM2Mサービスの需要の伸びをどのように想定しているか(携帯電話番号以外の識別子等の利用を想定している場合は、当該識別子等についてどのような想定をしているか)。
- 今後、M2Mサービスを除く携帯電話番号の需要の伸びをどのように想定しているか。

(2) M2M専用番号について

- 携帯電話網を利用するM2MサービスにM2M専用番号を設けることについて、どのように考えるか。
- M2M専用番号を設ける場合、どのような番号又は識別子及び桁数が良いと考えるか。
- M2M専用番号を設ける場合、携帯電話事業者間又は携帯電話事業者以外の電気通信事業者との間でどのような影響又は留意すべき事項があるか。
- M2M専用番号を設ける場合、現に利用している利用者への影響をどのように考えるか。利用者保護の観点からどのような方策が考えられるか。
- M2M専用番号の指定基準についてどのように考えるか。

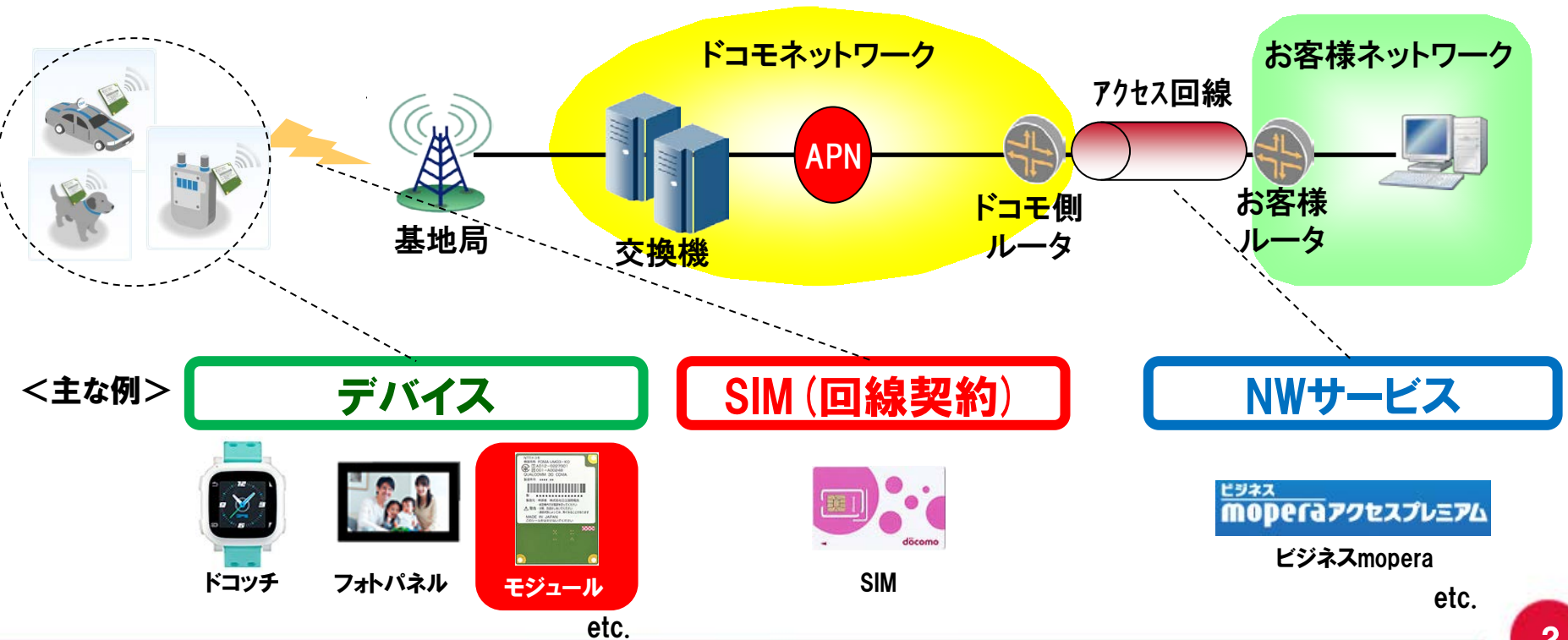
(3) 携帯電話番号の枯渇対策について

- 携帯電話番号の枯渇対策として電気通信番号指定基準を見直す場合、どのような影響又は留意すべき事項があるか。
- 将来的な携帯電話番号の枯渇対策として、どのような方策が考えられるか。

ヒアリング項目: 1-1(1/5)

Q:現状、携帯電話番号を利用するM2Mサービスとしてどのようなサービスを提供しているか。

携帯電話番号を利用する「M2Mサービス」については「デバイス(ドコッチ、ユビキタスマジュール等)」「SIM(回線契約)」「NWサービス(ビジネスmoperaなど)」を提供しています。



「ユビキタスモジュール」の利用による導入事例を以下に示します。



配送管理



運行管理



遠隔検針



在庫管理



位置情報



危機管理



勤務管理



コンテンツ送受信



モバイル決済



カメラ遠隔監視



カーナビ

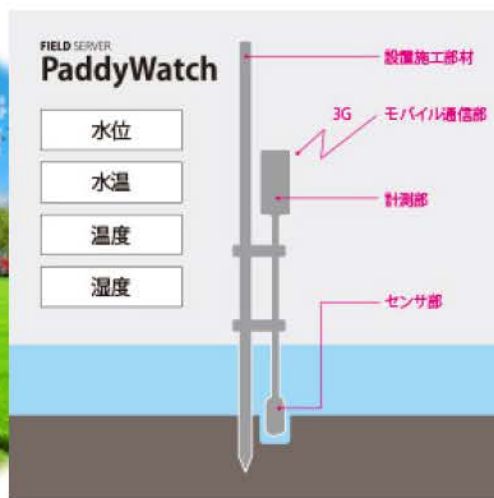
「遠隔検針」のソリューションとして以下の事例が挙げられます。

農業分野での「協創」の具体的な取り組み

スマートライフ
領域の成長



水田センサとクラウド型水田管理システムを使った 水田の水位・水温・気温、農作業記録等の管理・監視



「M2Mサービス」の利用形態は、大きく2つに分類されます。

個人での利用

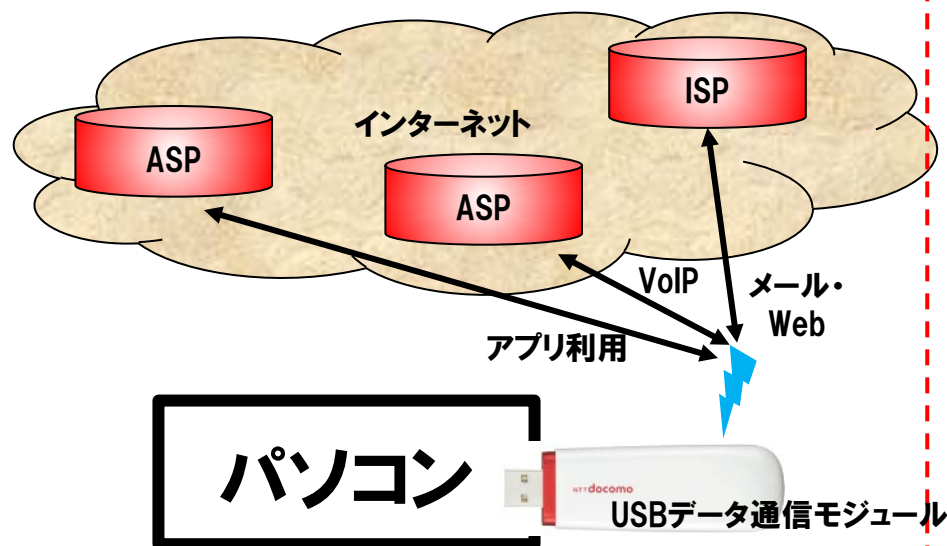
ドコモが提供する「M2Mサービス」を直接ご利用いただいている形態であり、「ドコッチ」や「フォトパネル」等が該当します。

法人での利用

ドコモが提供するSIM（回線契約）へ法人ユーザ様が、付加価値（ソリューション等のサービス）を加え、自社利用や他へ提供しているものでスマートメータ、テレマティクス、自動販売機などが該当します。

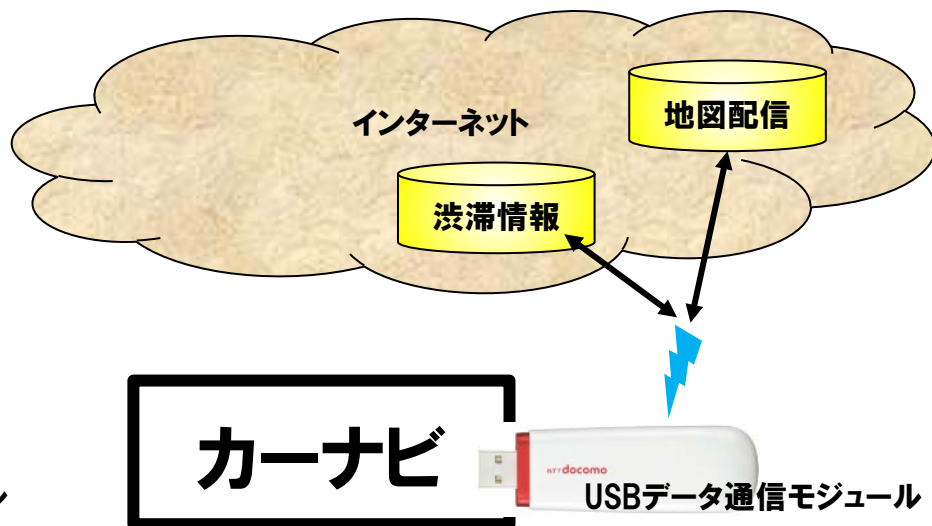
ヒアリング項目: 1-1(5/5)

同じ「デバイス」であっても、ソリューション等のサービスを加えたり、利用される形態によって、「M2Mサービス利用」に該当する場合があります。



ユーザーが必要に応じて、接続先を自由に選べ機能も自由に利用が可能

一般的な利用



必要に応じて、カーナビのみが接続可能なクローズドなコンテンツサーバに接続してサービスを提供

M2Mサービス利用

「M2M専用番号」の運用にあたり、「M2Mサービス」とは何か？を議論し、明確化を図る事が必要と考えます。

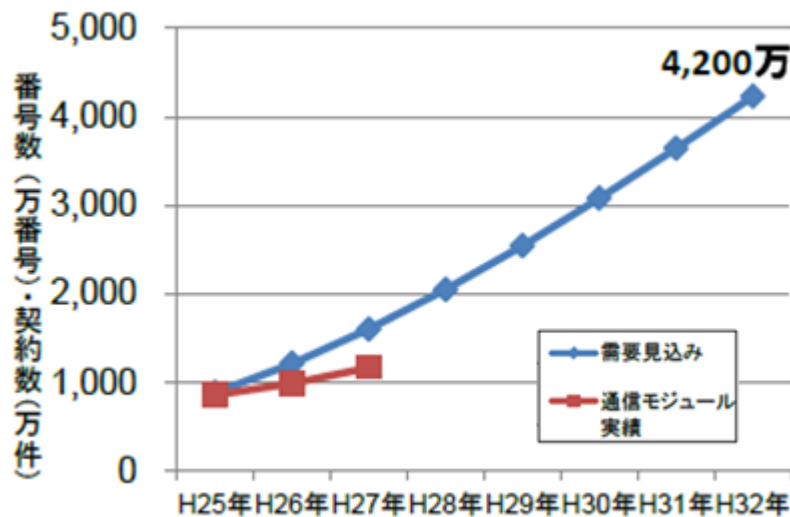
ヒアリング項目:1-2

Q:今後、携帯電話番号を利用するM2Mサービスの需要の伸びをどのように想定しているか
(携帯電話番号以外の識別子等の利用を想定している場合は、当該識別子等についてどのような想定をしているか)

NTTアドバンステクノロジーの調査結果並びに各シンクタンクからの需要から2020年の「M2Mサービス」における市場規模は、4000万-5000万になると推定されます。

また、携帯電話番号以外の識別子等の利用は、現状は想定していません。

M2Mに利用される携帯電話番号の需要予測



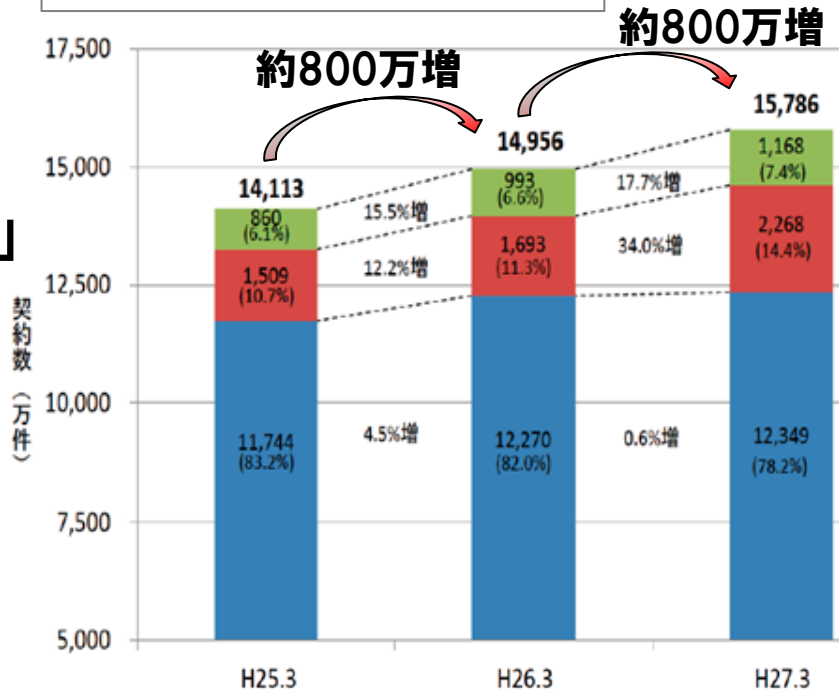
出典:「固定電話の番号区画等に関する調査研究 報告書」(平成27年3月 NTTアドバンステクノロジー株式会社)より作成

Q:今後、M2Mサービスを除く携帯電話番号の需要の伸びをどのように想定しているか

過去の携帯電話・PHSの契約数推移からすると、近年の伸びが今後も続くと想定されるが、M2Mサービスを除くということであれば、その伸びは鈍化傾向にあると考えられます。

但し、新たな需要として「MVNO」契約者の増、「2020オリンピック」に向けた訪日外国人の需要増を契約者推移の伸びに反映する必要性があると考えます。

携帯電話・PHSの契約数の推移(サービス別)



第13回 電気通信番号政策委員会資料より抜粋

ヒアリング項目:2-1

Q:携帯電話網を利用するM2MサービスにM2M専用番号を設けることについて、どのように考えるか。

070番号の指定状況と、ヒアリング項目:1-2で当社が述べました「4000万-5000万になると推定」をM2Mサービスの需要と考えた場合M2M用に専用番号を設けることが、070番号帯の枯渇対策に繋がる最も有効な手段と考えます。

携帯電話・PHS番号の指定状況(2015年3月末時点)

番号帯	用途	指定状況
070	携帯電話 PHS	4580万/9000万(約51%)
080		全て指定済み
090		全て指定済み

ヒアリング項目:2-2(1/2)

Q:M2M専用番号を設ける場合、どのような①番号又は②識別子及び③桁数が良いと考えるか。

①:番号帯

番号帯の用途が指定され、かつ使用状況が低い番号帯をM2M専用番号として利用することが望ましく、「020帯」が良いと考えます。

※用途が設定されていない番号(030/040)は今後の新サービスに向けて保留すべきと考えます。

番号帯	用途	Cコード	使用状況
010	国際電話		利用中
020	発信者課金 無線呼出し	4	利用中
		4以外	(空き)
030	(未指定)	保留すべき	
040	(未指定)		
050	IP電話		利用中
060	FMC等		(空き)
070	携帯電話 PHS		利用中
080		利用中	
090		利用中	

②:識別子

識別子についてはMSISDN (電話番号)が良いと考えます。

※現状、法人利用のM2Mサービスでは、法人ユーザー様の利用において電話番号を以って、提供/管理等がされていることから既存ユーザへの影響を考慮することが望ましいと考えます。

③:桁数

今後のM2M需要予測が4000万-5000万になると推定される事から桁数については、現行の11桁で十分と考えます。

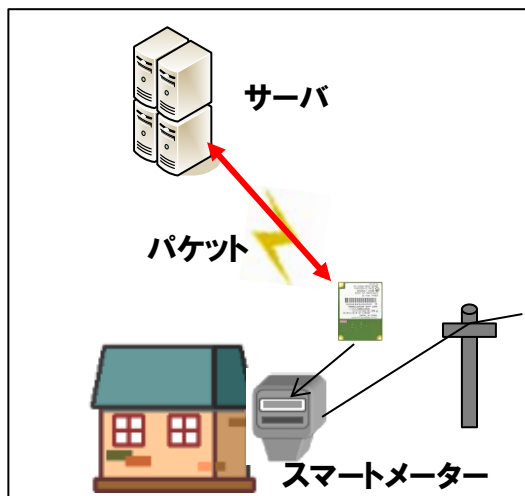
※桁増や他の識別子の場合は、莫大な費用が掛かる事、開発期間が長期に渡る事、管理運用面においても問題が生じます。

ヒアリング項目:2-3

Q:M2M専用番号を設ける場合、携帯電話事業者間又は携帯電話事業者以外の電気通信事業者との間でどのような影響又は留意すべき事項があるか

現在の「M2Mサービス」はパケット通信が主体であり、必要に応じ音声/SMSを組み合わせて利用や提供をしている状況です。今後のM2Mサービスの多様化および高度化を考慮すると、パケット通信の利用にサービスを限定しない事が望ましいと考えます。

パケット通信



+音声



+SMS



Q:M2M専用番号を設ける場合、現に利用している利用者への影響をどのように考えるか。利用者保護の観点からどのような方策が考えられるか

「M2Mサービス」を提供されている法人ユーザ様へのM2M専用番号移行は、各種システムの登録変更等、法人ユーザ様への作業やコスト負担を強いることになるため、法人ユーザ様の同意が必要です。特に、強制的なM2M専用番号への移行は利用者保護の観点から避けるべきと考えます。

ただし、法人ユーザ様における機器更改等のタイミングにおいてはSIM交換を伴うシステムの置き換えとなるため、M2M専用番号への移行の可能性はあると考えます。

Q:M2M専用番号の指定基準についてどのように考えるか

M2Mサービス(特に法人利用)においては、商品の組み立て段階よりも前の段階である、いわゆる部品製造段階「**基盤部品**」で番号の書き込まれたSIMが必要※となるため、M2M専用番号の指定基準については、現在の指定基準と異なるものと考えます。

指定基準に基づく
定期申請

≠

M2M番号指定基準

※現状のM2Mサービスについては、SIM(回線契約)が予め必要となる時期、必要となる数が案件によって異なります。

Q:携帯電話番号の枯渇対策として電気通信番号指定基準を見直す場合、どのような影響又は留意すべき事項があるか

- ・現在弊社では携帯電話番号の枯渇対策に協力すべく、指定基準の判断に加えて、更なる精査を実施した上で申請を実施しています。
- ・今後のサービス高度化や多様化等(MVNO含む)を考えると、特別な需要が生じた場合などの柔軟な番号申請が可能な指定基準として頂きたい。

指定基準に基づく申請

加えて
+

特別な需要に基づく
柔軟な申請

Q:将来的な携帯電話番号の枯渇対策として、どのような方策が考えられるか

携帯電話番号枯渇対策としては、新たな0A0番号帯の準備を行うことが必要です。

番号帯の用途が指定され、かつ使用状況が低い番号帯を利用することが望ましく、090-070帯との連続性を考慮し、「060帯」が良いと考えます。

番号帯	用途	Cコード	使用状況
010	国際電話		利用中
020	発信者課金 無線呼出し	4	利用中
		4以外	(空き)
030	(未指定)	}	保留すべき
040	(未指定)		
050	IP電話		利用中
060	FMC等		(空き)
070	携帯電話 PHS		利用中
080		利用中	
090		利用中	